

## スピーカーアキュライザーの活用(1) —スピーカーアキュライザーの配置替えと追加導入—

### 1. 始めに

インフラノイズ社のスピーカーアキュライザーSPA-7の導入はスピーカーアキュライザーの導入(2)で報告した条件で設置し、その後接続条件を変更してスピーカーアキュライザーの導入(14)の条件で推移しています。今回、オーディオ仲間のST氏の協力を得て、設置条件の変更を実施しました。

### 2. スピーカーアキュライザーSPA-7の設置条件の変更

スピーカーアキュライザーの導入に際しては、スピーカーアキュライザーの導入(2)で報告のとおり、駆動アンプの300Bシングルに近い場所にある、ムジカライザーML-6との単純な置き換えを実施しました。これによりスピーカーアキュライザーからFAL C90EXWには、5m長のスピーカーリベラメンテ2本でバイワイアリングの配線を行っています。

今回、1.3m長のスピーカーリベラメンテをL/R各2組を購入し、300Bシングルから直に5m長のスピーカーリベラメンテ1本でスピーカーアキュライザーに配線し、スピーカーアキュライザーから1.3m長のスピーカーリベラメンテ2本でFAL C90EXWにバイワイアリングの配線を行うように変更しました。即ち、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングは3.7m分FAL C90EXWに近づいたこととなります。この変更の結果の音質をST氏同席で確認することにしました。



### 3. サブシステムへのスピーカーアキュライザーSPA-7の設置

今回、追加のスピーカーアキュライザーも購入しましたので、サブシステムへのスピーカーアキュライザーSPA-7の設置を行いました。

2項に述べた変更において余ってきた5m長のスピーカーリベラメンテを使用し、サブシステムの再構成(11)で報告したムジカライザーML-6からスピーカーアキュライザ

一SPA-7に置きかえて配線します。

即ち、ムジカライザーからスピーカーアキュライザーに入れ替え、ケーブルもサブシステムの再構成(11)で報告したベルデンから5m長のスピーカーリベラメンテに変更することになり、これらの変更の結果の音質をST氏同席で確認することにしました。



#### 4. スピーカーアキュライザーSPA-7の設置条件変更後の試聴結果

ヒラリー・ハーンのバッハのヴァイオリン協奏曲のアナログ盤と藤田恵美の Spotify からのストリーミング再生を行ってから上記の設置条件変更を行い、再度再生しました。ヴァイオリン協奏曲では、ヴァイオリンとバックのアンサンブルのニュアンスがより明確に捉えられ、藤田恵美は、ボーカルの細かい表情が出てきて、バックの楽器の質感も明瞭になっています。設置条件の変更ですので、激変とは言えませんが、同席のST氏も確かに変化はあるとのご感想でした。

#### 5. サブシステムへのスピーカーアキュライザーSPA-7設置の試聴結果

サブシステムは、Pilotone 5881pp アンプ駆動の AXIOM80 として、バッハのヴァイオリン協奏曲のアナログ盤と藤田恵美の Spotify からのストリーミング再生を行ってから上記の設置条件変更を行い、再度再生しました。この場合は、ムジカライザーML-6からスピーカーアキュライザーSPA-7への変更とベルデンのケーブルからスピーカーリベラメンテへの変更がありますので、一聴して音の変わり具合は歴然としています。バッハのヴァイオリン協奏曲では、ヴァイオリンとバックのアンサンブルの音の粗さが取れ、藤田恵美は、ボーカルのニュアンスの精度が歴然と向上します。同席のST氏も、スピーカーアキュライザーの効果を改めて認識されたようです。この他、STAGE+のクラシックギターのライブの臨場感などを確認し、バッハのヴァイオリン協奏曲のアナログと同じマスターからの STAGE+と Spotify の音質の違いなどを確認しました。

次に駆動アンプとスピーカーアキュライザーそのままにして、スピーカーを AXIOM80 から Tannoy III LZ に繋ぎ替えました。バッハのヴァイオリン協奏曲のアナログ盤と藤田恵美の Spotify からのストリーミング再生は、高域が勝ちがちな

AXIOM80 に比べてバランスが良くなり、弦の艶などは Tannoy らしさが出てきます。

この後、Spotify のオペラガラや Jazz の 78 回転盤からの 5.6MHzDSD 録音ファイル音源などで、Tannoy III LZ でどのように聴こえるかを確認しました。

さらに、ST 氏が持参されたマランツのアンプのカップリングなどにも使用されていた BUMBLE BEE のコンデンサーを経由させた自作のアクセサリーを RCA ケーブルの途中に挿入する実験を行いました。藤田恵美の Spotify からのストリーミング再生では、エッジがとれて、聴きやすくなる傾向があることが分かりました。

以上、ざっとした試聴で終わりましたが、ST 氏は、全体を通し改めてスピーカーアキュライザーの効果の評価されていました。

## 6. まとめ

FAL C90EXW のスピーカーアキュライザー SPA-7 の設置条件変更とサブシステムへのスピーカーアキュライザー SPA-7 設置が完了しました。今回はざっとした試聴であり、メインシステム、サブシステムとも、スピーカーアキュライザーの本領を發揮できる下地ができましたので、じっくりと試聴を継続していきます。

以上